

## Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は為替フロー統計が資金流出となったことからレアル安となる展開でした。朝方は為替フロー統計の発表を控えて3月第3週までに記録した多額の資金流入の勢いが鈍るとの観測から前日比レアル安の2.27近辺で始まりました。先週分の為替フロー統計は実際に27.4億ドルと大きな資金流出となったことからレアル売り優勢となり、2.27台後半へレアル安となりました。しかし、その後はCOPOMの発表を控えて小動きとなり、結局2.27近辺で引けています。

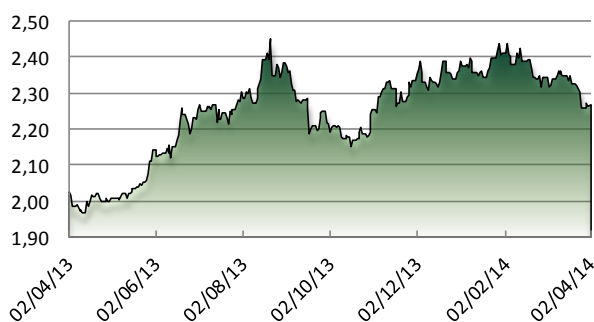
昨晚COPOMは市場予想通り全会一致で25bpsの利上げを決定しSELICを11.00%としました。声明文は「COPOMは現時点において全会一致でSELICを0.25%引き上げ11%とすることを決定した。金融政策の戦略に関する次の行動を明らかにするため次回会合までマクロ経済シナリオの進展を監視していく。」となり、前回の声明から一步踏み込んで今後の金融政策が経済指標次第になることを鮮明に打ち出し、景気へ配慮する形で利上げ停止の可能性を強調しています。しかし、今後実際に利上げ打ち止めとなってもインフレ抑制のためには高金利を当面維持する必要があることに加えて選挙後に利上げ再開となる可能性もあるため景気への影響は避けられそうにありません。それでも高金利が資金を惹きつけてレアル安が抑制されればインフレ懸念も弱まるためSELICの上限も抑えられるでしょう。但し、インフレ抑制のための高金利が経済を停滞させるのは明らかなので、ルセフ大統領が従来から目指している「普通の国の金利水準」へ持って行くためには非効率性を取り除く構造改革が欠かせません。

## マーケットデータ

| Indicator                        | Unit  | 4月1日   | 4月2日   | 前日比     | 2月28日  | 1ヶ月前比   |
|----------------------------------|-------|--------|--------|---------|--------|---------|
| BRL / JPY Spot                   | JPY   | 45,85  | 45,77  | -0,08   | 43,41  | +2,36   |
| USD / BRL Spot                   | BRL   | 2,2619 | 2,2689 | +0,0070 | 2,3443 | -0,0754 |
| USD / JPY Spot                   | JPY   | 103,65 | 103,88 | +0,23   | 101,80 | +2,08   |
| Bovespa (ブラジル株価指数)               | Index | 50.270 | 51.701 | +1.431  | 47.094 | +4.607  |
| CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ) | bps   | 166,7  | 167,3  | +0,6    | 171,6  | -4,3    |
| Brazil 5yrs Gov. Bond            | %     | 12,64  | 12,63  | -0,01   | 12,49  | +0,14   |
| DI Future Jul15 (金利先物)           | %     | 11,68  | 11,67  | -0,01   | 11,56  | +0,11   |
| 3 Months US Dollar Libor         | %     | 0,228  | 0,230  | +0,002  | 0,236  | -0,006  |
| CRB Index (国際商品指数)               | Index | 301,9  | 301,3  | -0,6    | 302,4  | -1,1    |

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

